



北海道・東北ネットワーク研究会

北海道開催 〈北海道どさん子ラウンド〉

【期 日】H28.7.16(土)
【会 場】北海道教育大学 アーツ&スポーツ文化複合施設HUG
【参加者】小学校2名、中学校2名、高校10名、大学等5名

平成28年度北海道・東北ネットワーク研究会「どさん子ラウンド」が北海道札幌市で開催されました。佐藤豊教授を始め、岩手県1名、東京都1名、神奈川県1名、北海道内から16名の参加があり、北海道はもとより、日本の体育・保健体育の発展・充実に向けて、北国で熱い研究会が開催されました。

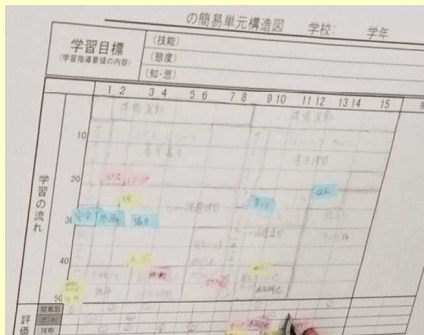
1 説明【桐蔭横浜大学教授 佐藤 豊 氏】

横浜桐蔭大学 佐藤豊教授から学習指導要領に基づいた授業づくりと評価の方法についてお話しいただきました。単元計画を作成するポイントとしては、まず学習指導要領の趣旨と内容の理解、少し努力したら実現可能な具体的な目標設定、評価の在り方を踏まえた教材のイメージなどが重要であることや、教える時間と考えさせる時間をどう配分するかについて、具体的な事例を入れながら説明いただきました。

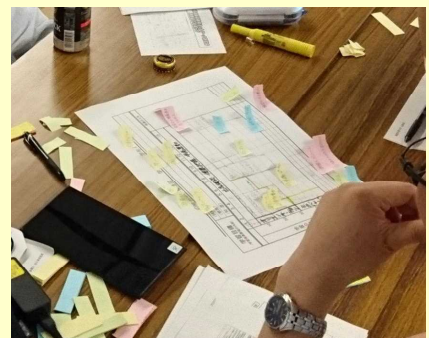


2 ワークショップ

ワークショップでは、簡易単元構造図を活用して、バレーボールの単元計画の作成を行いました。評価のタイミングを決めてから、どの時期に学習させるのか、観察による評価が1時間の中に複数ないかなど、単元計画を作成するに当たっての留意点等を理解することができました。



また、各グループにおけるワークショップの内容を参加者全員で共有するために、シグソー法を活用した発表方法を取り入れました。



参加者からは、「指導と評価の計画の立て方や評価のタイミングなどについて理解することができたので、今後に役立てたい」などの感想が寄せられました。

3 まとめ【国立教育政策研究所教育課程研究センター 高橋 修一 氏】

中央教育審議会の動向等についてお話をいただきました。学習指導要領改訂の背景や、次期学習指導要領の方向性及びこれから求められる育成すべき資質や能力等について、スライドを基にわかりやすく説明していただきました。

また、運動に関する「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全等の態度を含む「学びに向かう力、人間性等」の3つの資質・能力をバランスよく育成する必要があることについても解説していただきました。

参加者は、アクティブ・ラーニングの視点で授業改善を行うことなどの大切さや、知識と技能を関連付けて指導することの重要性、評価の観点が3観点となることなどについて理解を深めることができました。

